

平成 27 年度 南魚沼郡市学校保健部 活動報告

部長 井口 泉

1 研究主題

(1)研究主題 児童生徒の『生きる力』を育む学校保健活動の充実を目指して（1年次）

(2)主題設定の理由

児童生徒一人一人が生涯を通して主体的に健康な生活を送ることができるよう、「生きる力」を育成することを目指し、養護教諭の専門性を生かした支援の在り方について研修を深めた。

2 研究の概要

(1)第1回研修会 6月18日（木） 会場：南魚沼市民会館

① 全体研修：県養研研究推進委員会報告

② グループ研修：共通テーマと研修計画の立案

・生活習慣 ・性教育 ・疾病予防と管理 ・救急処置

(2)第2回研修会 7月31日（金） 会場：南魚沼市民会館他

個人・グループ研究の報告とグループごとのテーマにせまるための研修を行った。

(3)中学校研究部会 8月20日（木） 会場：大和中学校

① 教材検討：思春期教材作成委員会の性教育講話に関する教材の検討を行った。

② 情報交換

(4)第3回研修会 11月20日（金） 会場：南魚沼市役所大和庁舎

① 講演会「健康相談に使える認知行動療法」

講師 聖徳大学児童学部教授 鈴木 由美 様

② グループ研修：個人研究の進捗状況報告及び研修の成果と課題について

③ 郡市良い歯の学校表彰

(5)第4回研修会 2月下旬開催予定 会場：南魚沼市民会館

① 全体研修：県養研研究推進委員会報告

② グループ研修：各グループの活動報告・個人実践報告

③ ワークショップ形式での教材の共有



3 研究の実際

(1)グループ研修の成果

地区の健康課題や育てたい児童生徒の姿を明確にした研修であった。小中の連携を深め、共通した保健指導や体制づくりに生かすことができた。

① 生活習慣：生活習慣定着に向けたカード・指導案等を作成し、指導に生かした。

② 性教育：小中9年間の性教育指導教材の検討・作成を行うことができた。

③ 疾病予防：吐物処理セットの整備や作成を行い、自校で生かすことができた。

④ 救急処置：緊急対応マニュアルとアクションカードの見直し・修正を行った。

(2)講演会

鈴木様の講話を通し、振り返りをさせる手順、児童生徒がもつ考え方の自覚のさせ方を学んだ。様々な視点の捉えや考えをもたせる働きかけを行うことで、児童生徒の行動変容につながるということを学び、今後の執務に生かせる有意義な研修となった。



4 反省と課題

2年計画で研修を進めている。保健指導や活動の実施・運用の評価や修正を含めてより計画的に行うことができ、会員の日常執務に直結する研修となった。小中連携と共に、校種ごとの情報交換の機会を設定し、校種間のつながりをより一層強めることが今後の課題である。県の研究方針を踏まえつつ、郡市内の児童生徒の健康課題や会員のニーズに沿った研修を進め、学校保健活動の充実と会員個々の資質向上を目指していきたい。